

平成30年度（2018年度）

吹田市市民意識調査報告書

概 要 版

平成31年(2019年)3月

吹 田 市

目 次

平成30年度の調査結果	2
1. 分析	2
2. 市の取組への評価	3
3. 過去の調査との比較	4
調査の概要	5
1. 調査目的	5
2. 調査項目	5
3. 調査対象	5
4. 調査期間	5
5. 調査方法	5
6. 回収結果	5

平成30年度の調査結果

1. 分析

市民の御意見や御要望を把握し、市政運営の基礎資料とするために、4年毎に全市的なアンケートを実施しています。

今回のアンケート結果では、4年前と比べて、人権意識、子育て環境、治安の良さ、まちの美観など、多くの項目で市の取組への評価が向上しました。

- ① 吹田市の取組に対する評価（図1.1）は、全ての取組で『肯定』の方が『否定』に比べて割合が高くなっている。特に『肯定』の割合が高い項目は、《⑨木々や草花などの緑が多いので、まちに愛着や誇りを感じる》（62.1%）、《⑩全体として、吹田市のまちなみは美しいと感じている》（60.7%）、《⑬散乱ごみが少なく、美しいまちだと思う》（59.4%）となっている。
- ② 評価点は、全ての取組で50点以上の評価となっている。特に、《⑨木々や草花などの緑が多いので、まちに愛着や誇りを感じる》（67.7点）、《⑩全体として、吹田市のまちなみは美しいと感じている》（66.4点）、《⑮水辺や緑が豊かなまちである》（65.6点）、《⑬散乱ごみが少なく、美しいまちだと思う》（65.3点）では65点以上と高くなっている。
- ③ 平成26年度調査と比較（図1.2）すると、全ての取組で平成26年度調査よりも評価点が高くなっている。特に、評価点が平成26年度調査よりも高くなっているのは《①以前と比べ、家庭や地域、学校、職場などで、人権意識が向上している》（4.5点増）、《⑩家庭で、日頃から地震や風水害などの災害に備えている》（4.5点増）となっている。

2. 市の取組への評価

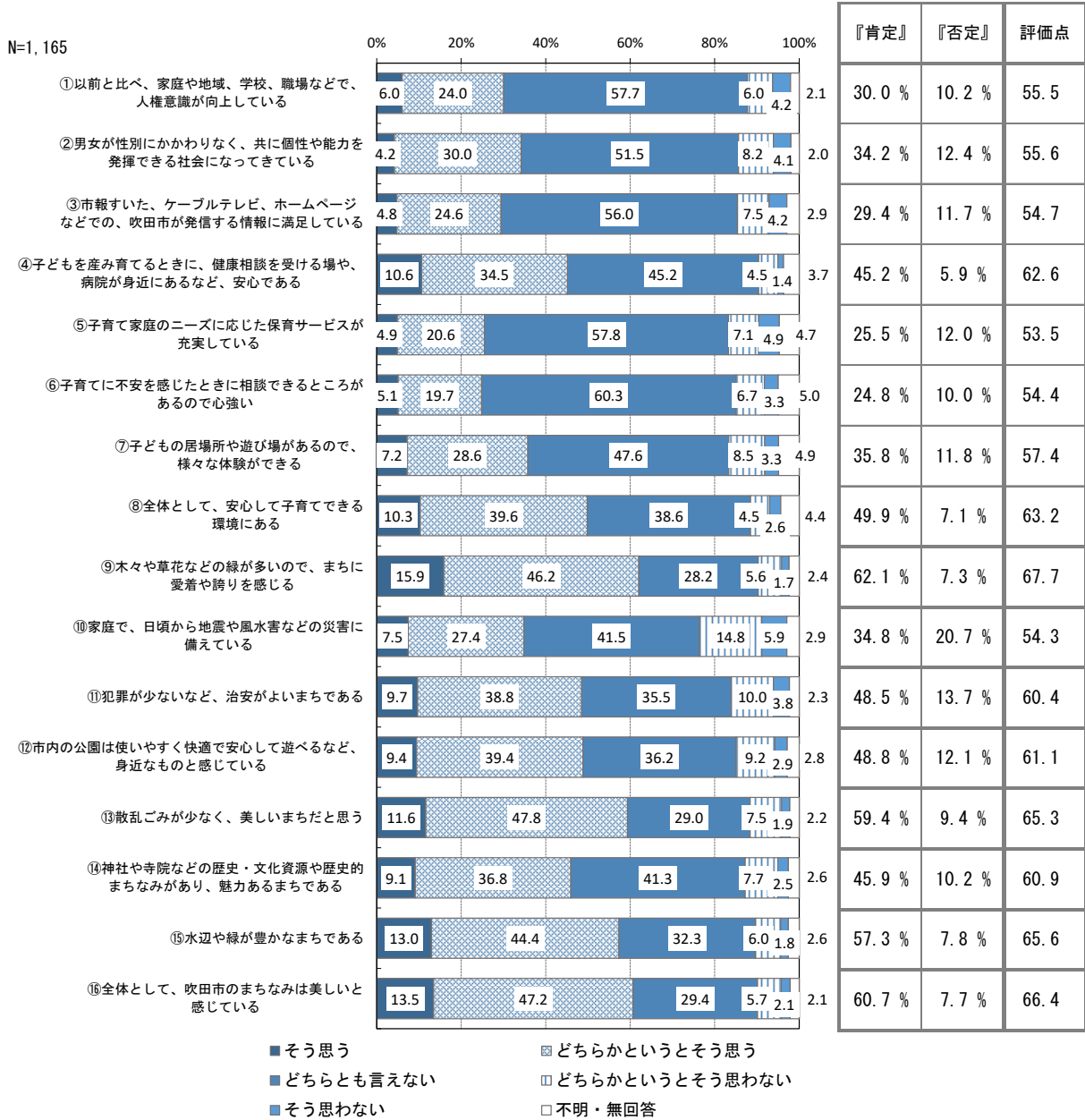


図 1.1 吹田市の取組に対する評価

※ 『肯定』：「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計
 『否定』：「どちらかというと思わない」と「そう思わない」の合計
 評価点：「そう思う」=100点、「どちらかというと思う」=75点、
 「どちらとも言えない」=50点、「どちらかというと思わない」=25点、
 「そう思わない」=0点として算出

3. 過去の調査との比較

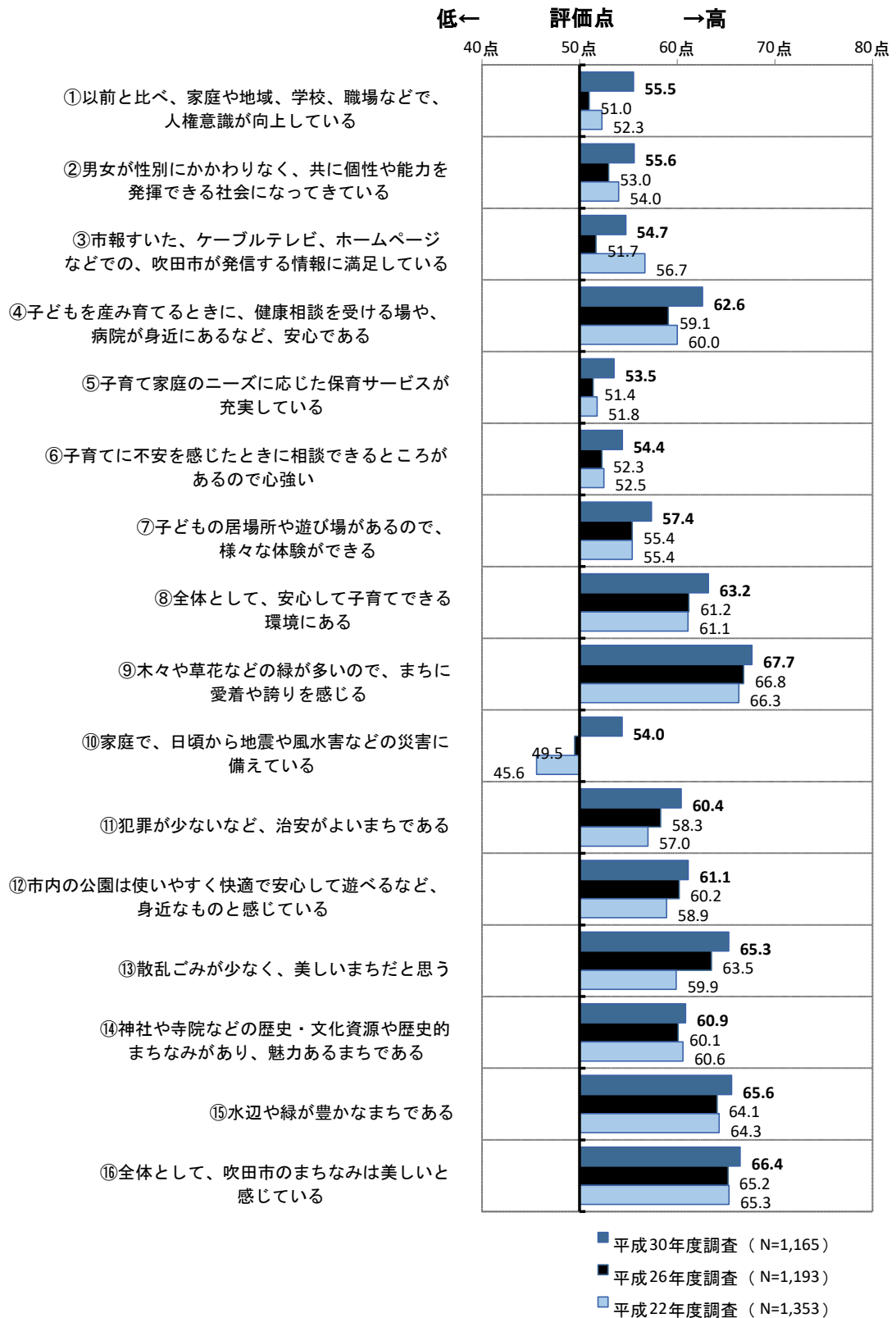


図 1.2 吹田市の取組に対する評価（評価点経年比較）

調査の概要

1. 調査目的

吹田市民の市政やまちづくりに関する意見や要望等を把握し、今後の施策や事業を検討するとともに、市政運営の基礎資料とする。

2. 調査項目

- ①回答者の属性について
- ②回答者の居住地域について
- ③余暇活動などについて
- ④市政情報やインターネットを活用した情報提供について
- ⑤医療について
- ⑥障がい者について
- ⑦吹田市のさまざまな取組や市政運営について
- ⑧市政や市のまちづくりへの意見

3. 調査対象

- ①調査地域 吹田市全域
- ②母集団 平成30年（2018年）6月30日現在、18歳以上85歳未満の吹田市在住者
- ③標本数 2,000名
- ④抽出方法 層化系統無作為抽出法

4. 調査期間

平成30年（2018年）7月28日（金）～8月24日（金）

5. 調査方法

郵送調査法（お礼兼督促1回、無記名方式）

6. 回収結果

配付数： 2,000
有効回答数： 1,165
有効回答率： 58.7%

平成30年度（2018年度）
吹田市市民意識調査報告書（概要版）

平成31年（2019年）3月

発行：吹田市 市民部 市民総務室 広聴担当

所在地：〒564 - 8550

大阪府吹田市泉町1丁目3番40号

電話：06 - 6384 - 1378（直通）

FAX：06 - 6385 - 8300
